

# 未来につなぐ上下水道

上下水道施設や管路の更新、耐震化等を効率的に進め、安心・安全な飲料水と快適な生活環境を提供します。

## 水道事業

浄水場及び管路の更新を進めています。

### 1 浄水場等

本市には簡易水道を含め、24箇所の浄水場、82箇所の加圧ポンプ所があります。

堀浄水場においては、昭和8年に建設された緩速ろ過施設に替わるものとして「膜ろ過施設」を建設し、平成28年から供用を開始しています。膜ろ過施設は、耐震性を備えるほか長期使用にも対応しており、1日10,000m<sup>3</sup>の水を安定して供給することができます。

このほか、簡易水道を含め浄水施設を効率よく更新していきます。

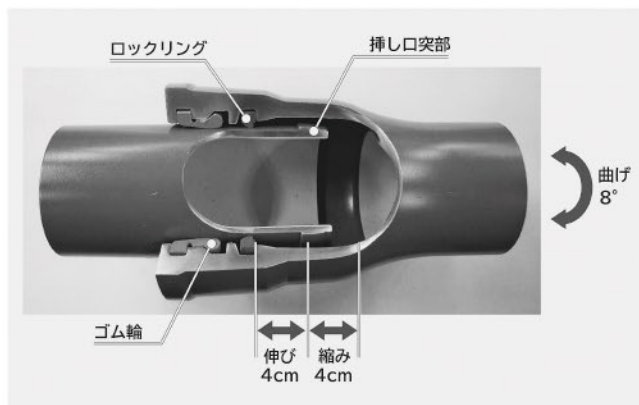


\* 昭和8年から使用していた緩速ろ過池（左側）を膜ろ過施設（右側右奥の建物）に更新

### 2 管路

水道管路は1,076kmで、その耐震化率は20%です。

管路の更新の際には、耐震化はもちろん長期間使用できる管種を採用しており、安定した水の供給のために効率よく更新を進めていきます。



耐震性・耐久性を考慮し、口径100ミリ以上の管路にはダクタイル鋳鉄管、75ミリ以下の管路には配水用ポリエチレン管を使用しています。（写真提供：一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会）

## 下水道事業（農業集落排水事業を含む）

管渠・施設の改築を進めています。

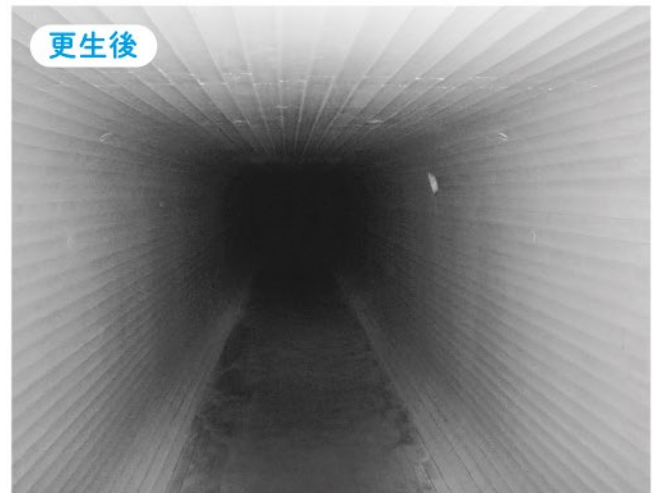
### 1 管渠等

下水道管渠は813kmで、多くのマンホールポンプ（約670箇所）を介して下水を送水しています。市民生活に影響が出ないように、計画的な改築に取り組んでいます。

#### 改築の例



管渠の上部が腐食しています。



下水の使用を中断することなく、管渠の更生ができました。

上記の写真は、改築方法（管更生）の一例です。管渠を新規に入れ替えることなく、また道路を全面的に掘削することなく古くなった管の中に新しく管を作る工法です。

この更生工事で、管渠を50年長寿命化することができました。

### 2 施設

下水道施設には、汚水を処理場まで届ける中継ポンプ場（17箇所）と汚水を処理するための汚水処理施設（農業集落排水施設の汚水処理場を含め24箇所）があります。



更新前の除塵機（和久市第1ポンプ場）



更新前の排水ポンプ駆動用エンジン。（終末処理場内）

\* 同様に全ての下水道施設には、上記のような機械電気設備が数多くあり、公共下水道施設だけでも約2,300の機器を設置しています。更新には多額の費用がかかるため、長寿命化計画を策定し、計画的に更新していきます。